

令和2年度東通村防災訓練

9月5日(土)、東通村防災センターにおいて、東通村、東通村消防団、東通消防署、むつ警察署などの関係機関、一般住民を含む約400名が参加し、令和2年度東通村防災訓練を行いました。

今回は、『村内に新型コロナウイルス感染症が流行している中、青森県東方沖を震源とする地震が発生し、村では震度7、地震により家屋の火災・倒壊、広範囲にわたる停電、水道管・電話線の断裂等の被害が多数発生した』との想定のもと、来場者に検温を実施し、マスク着用の上で開催しました。

住民避難訓練では、北地区4集落35名が参加。巡回広報による避難の呼びかけや避難経路の確認を行いました。

また、火災防御訓練では、日鉄鉱業(株)尻屋鉱業所、三菱マテリア(株)青森工場、東通消防署、東通村消防団が、火災が起きてからの初期消火、応援の要請、消火するまでを実演。見事な連携を見せました。

その他にも、応急電源確保、交通事故救出・緊急交通路確保

保、炊き出しなど各種訓練の他、災害用伝言ダイヤル、陸上自衛隊第九師団第五普通科連隊の展示等を行いました。訓練に参加した早掛平自主防災会、住民の方々も、消火器による初期消火訓練、住宅用火災警報器の実演やAED(除細動器)による救命法の説明など、災害時の自衛・応急対策などを体験しました。また、東通村消防団による一斉放水訓練が行われ、全分団の消防車両が勢いよく大空に向けて放水を行いました。

いざという時に備え、災害時の対応や、防災意識の啓蒙に努め、日頃から防災に対する意識を持ちましょう。



災害対策本部長を務める
越善靖夫村長



連携のとれた消火活動



避難住民を誘導



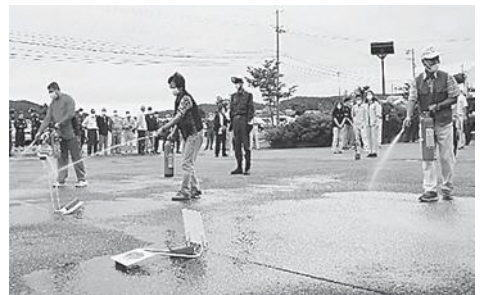
来場者に対して検温を実施



消防団による一斉放水訓練



炊き出し前に手指消毒を実施



住民による初期消火訓練

◆訓練項目◆

- ①シェイクアウト訓練 ②住民避難訓練(村内4集落35名) ③救助救出訓練 ④初期消火訓練 ⑤火災防御訓練 ⑥ポータブル衛星車展示・災害用伝言ダイヤル説明 ⑦AED・応急処置 ⑧炊き出し訓練 ⑨高圧電源車による応急電源確保訓練 ⑩給水管漏水復旧・給水訓練 ⑪交通事故救出・緊急交通路確保訓練 ⑫一斉放水訓練